

http://www.minamih.net/

割り箸、どうしていけないの？

南の4年生からの質問です。分からないことをすぐ訊く、とてもいいですね。

改めて調べてみました。

日本人が1年間に消費している割り箸はおよそ230億膳で1人平均200膳/年だそうです。

その9割は中国製で、南部では竹製、北部では木製の割り箸を生産しています。中国北部では森林を皆伐、森のすべての木を伐って作っているそうです。伐った後に植林をするように政府は指導しているのですが、大半は農地になり、雨がふった後の洪水が問題になっています。

10・1・23 (土) 南NEWS NO46

私も賛成ですが、間伐材で作る割り箸なら良いという意見もあります。しかし、日本の国産の割り箸は総消費量の6パーセントです。十数円の高級割り箸しか太刀打ちできないそうです。という訳で、安い中国製の割り箸の日本での使用が中国での洪水につながっているのです。

中国の汚染された大気、黄砂が風に乗って日本にやってくることも問題になっている昨今ですが、中国やインド、シベリアなどで、森林の減少が一因で100年前にはおよそ10万頭いたトラが現在は4000頭に減っているそうです。割り箸とトラも関係あるようですね。

新春フットサル

○幼児の部 リーグ戦 第2戦 1月16日(土)

南3-3なかのそら1X 前半1-0

1pk2

得点 小笠原君(2) 渡邊さん

前半 南八王子 1-0 なかのそら1X 得点 小笠原君

小笠原君、渡邊さんが何度も相手のボールを奪いドリブルで持って行きハーフウェイラインから遠いシュートを撃ちますが入りませんでした。

相手のシュートをGKの大澤君が何度も止め、ようやく小笠原君がシュート、得点で前半が終わりました。

後半 南八王子 2-3 なかの 得点 渡邊さん、小笠原君

渡邊さんの素晴らしいシュート、得点から始まり、相手のシュートで2得点を取られました。小笠原君がシュート、得点で3-2とリード。時間もなくて勝ったと誰もが思いましたが、相手の得点、引き分けで後半が終わってしまいました。PK戦になり1-2負けました。

残念でしたが、みんなとってもよく頑張りました。

b y 三浦コーチ



幼児も精一杯練習の成果を発揮してGAMBAりました。惜しくもPK戦で破れて決勝トーナメントには進めませんでした。元気いっぱい戦いぶりは観ていて気持ちのいいものでした。つぎが楽しみです。
これからもGAMBA!
b y 鈴木コーチ

読書のすすめ

『日本人の矜持』

藤原 正彦著 新潮出版

— 9人との対話 —

…「たかが経済」といえる文化立国を…より P253~255

対談 阿川 弘之(作家) 藤原 正彦 数学者 お茶の水女子大学教授



藤原 私はこの20年くらい、初等教育のいちばん大きな目標は、自ら本に手を伸ばす子どもを育てることだと言い続けているんです。最近朝の読書運動などをやり始めて、小学生が図書館から本をどんどん借りるようになってきたらしいですね。

阿川 ああ、そうですか。それはいい兆候ですね。

藤原 それまでテレビばかりだったのが、本の面白さに気づいたみたいですね。

阿川 友達同士でメールの交換するのも楽しいだろうけど、本を読むというのは2千年昔の人とも、5千キロ離れたところに住む人とも友達になれることだからね。

藤原 そうですよ。時空を超える体験は読書以外にありませんから。

阿川 藤原さんはお茶の水女子大でも読書ゼミをなさっているんですね。

藤原 はい、私の読書ゼミで週に一冊ずつ文庫を読ませると、3ヶ月で人間が変わっちゃうんです。

阿川 ほほう。

藤原 『きけ わだつみのこえ』などを読むと、学徒出陣兵は自分たちよりはるかに教養があつて考えも深い。明治時代の人はさらに立派だし、今の私たちは近代で最低の学生じゃないかと劣等感をもってしまうほどです。日本は恥ずべき国家であると言っていた学生たちが、誇るべき国であると、まるで洗脳されたみたいに考えが変わってしまう。読書というのはものすごい力がありますね。

阿川 だけど、数学者の藤原先生が大学で何の授業をしていらっしゃるんですか。

藤原 大学院や学部では数学の授業もしているんですが、それだけでは少々飽きちゃう。そこで一年生の読書ゼミを受け持って、もう十年になります。

ゼミ終了後、夏休みに田舎に帰ったらおじいちゃんに戦争の話をお聞きしますとか、先祖の墓の草むしりをしますとか、学生が言い出すんですよ。

阿川 それは将来に希望の持てるいい傾向ですね。

(藤原氏は『国家の品格』の著者で、新田次郎・藤原ていさんのご子息です。)